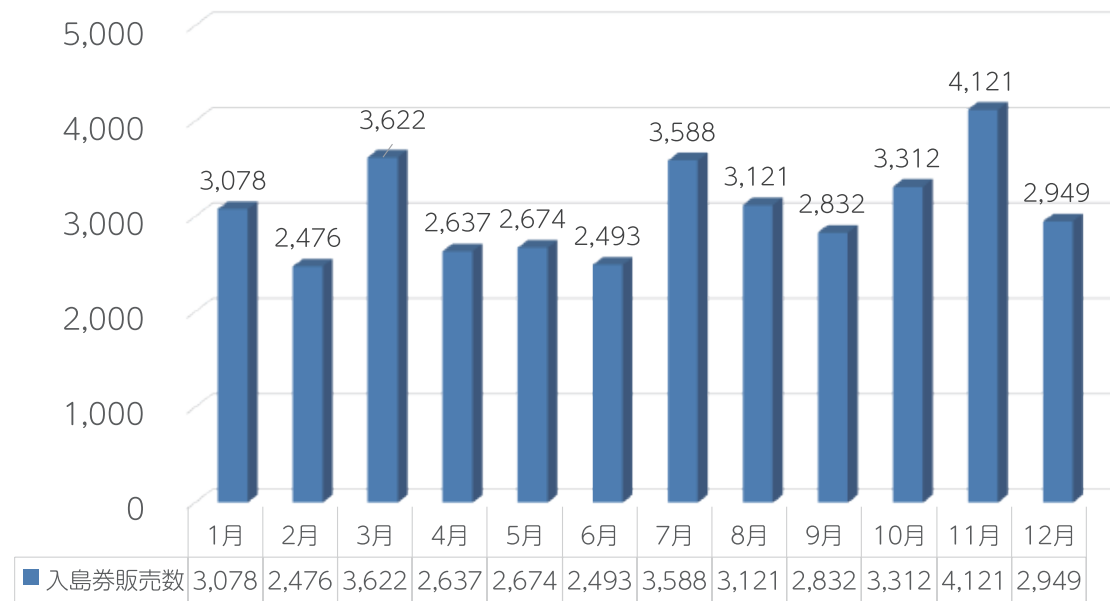


06 2023年入島料収受実績

2023年1月～の入島料収受実績は下記になります。観光客増加に伴い若干の回復傾向を見せていますが、コロナ以前の数字には遠く及ばず、収受率10%前後と大変厳しい収受実績となっております。今後とも周知拡大に向けたご協力をよろしくお願いします。

入島券販売数



お知らせ

入島料の返礼品である「てーどろんむにステッカー」がリニューアルしました。今回は島で見ることのできる生物をイラストにして作成しました。返礼品はかりゆし館で配布しています。



一般財団法人
竹富島地域自然資産財団

〒907-1101
沖縄県八重山郡竹富町字竹富 207-1
TEL:0980-85-2800 FAX:0980-85-2801
MAIL:info@taketomijima.okinawa

竹富島地域自然資産財団 季刊誌

てーどろん JOURNAL

2024.Feb. Vol.16.



© Maehara Motoo

竹富島では、そんなに遠くない昔。
あまり便利とは言えないけれど
自然体で暮らせる心豊かな時代がありました。

私たちは入島料で、島がいつの間にか失ってしまったもの、
忘れてしまったものを取り戻すべく活動を進めてまいります。

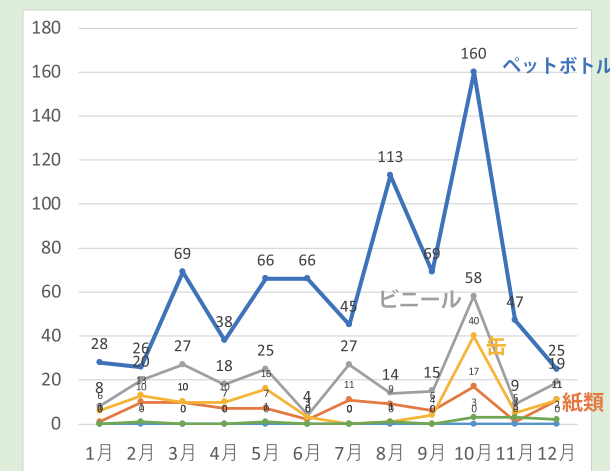
01 御嶽の森の植生調査

自然環境保全事業の一環として、自然環境の変化を理解し整理するため、財団として初めて御嶽の森の植生調査を行いました。琉球大学農学部の陳先生をお招きし計8つの御嶽を回りながら、御嶽の植生分類や状態についてモニタリングを行いました。また調査報告も兼ねて各御嶽の氏子の方々にも集まっていたき御嶽の森の管理に関する意見交換会を行いました。今後も島民の意思に専門家の意見もふまえながら問題解決を進めるとともに、長期的な保全に向け、定期的な調査を継続していく予定です。



03 2023年港ゴミの分別量

港に設置したゴミ箱の2023年ゴミ分別量が下のグラフになります。注目すべきは一年で出たペットボトルゴミ袋の量。合計752袋で実に66,000本超のペットボトルが港のゴミ箱に捨てられています。前号でもお知らせしましたがあまりのゴミの多さで財団スタッフだけでは手が足りず、木曜日（不定期）に島内事業者の皆さまとゴミの分別作業を行っております。実施日はLINE等でお知らせしますので引き続きご協力をお願いいたします。



02 竹富島キエーロプロジェクト

島の生ごみ処理環境を向上させることを目的にスタートした本プロジェクト。竹富島はゴミ処理施設の関係で生ごみを燃やすごみとして捨てられないのですが、設置されているコンポストは規模や衛生面で運用が行き届いておらず、なかなか思うように活用できていないのが実状です。そこで婦人会の方々を中心にご協力をいただき、土の中のバクテリアを利用して生ごみを分解させる生ごみ処理容器「キエーロ」の活用を始めました。竹富島を生ごみを捨てない循環する島に近づけるよう、継続的にサポートしていきたいと思ひます。



04 「星砂の話」展 特別イベント



旧与那国家住宅で「星砂の話」展を開催しました。1/8には特別イベントを実施し、多くの方にご参加いただき絵本のアニメーション上映や絵本に登場する星の子どもをイメージしたモビールを作るワークショップなどを実施しました

05 星のや竹富島 共同ビーチクリーン



11月も星のや竹富島と共同ビーチクリーンを実施しました。今回はカンナージ浜で海浜清掃作業を行いました。弊財団と星のや竹富島だけでなく、子どもたちも参加してくれ、いつも以上に浜をきれいにすることができました！